

7 桑 監 第 2 3 号

令和 7 年 8 月 26 日

桑折町長 高 橋 宣 博 様

桑折町監査委員 鈴 木 順 子

同 佐 藤 久 一

令和 6 年度桑折町公営企業会計決算審査意見書について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、令和6年度桑折町水道事業会計、下水道事業会計の決算書及び関係書類を審査したので、その結果について別紙のとおり意見書を提出します。

令和6年度桑折町公営企業会計決算審査意見書

1 審査の対象

令和6年度桑折町水道事業決算

令和6年度桑折町下水道事業決算

上記の決算に関する証書類、事業報告書、収益費用明細書、固定資産明細書及び
企業債明細書

2 審査の期日

令和7年7月31日

3 審査の方法

審査にあたっては、町長から提出された、決算報告書及び決算付属資料について、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されているか、かつ、その計数は正確であるかを検証するため、関係帳簿と照合し、必要に応じ関係職員から説明を受け、審査した。

4 審査の結果

審査に付された決算報告書及び決算付属資料は、地方公営企業法及び関係法令の規定に基づき作成され、その計数は正確であり、当年度における経営成績を適正に表示している。また、会計帳票や証拠書類等との照合の結果についても符合した。事業は概ね適正に運営されているものと認められた。

5 決算の概要

◆ 桑折町水道事業会計 ◆

(1) 業務の概要

項目	令和6年度	令和5年度	前年度比較
年度末給水人口	10,164 人	10,240 人	▲ 76 人
年度末給水戸数	3,747 戸	3,749 戸	▲ 2 戸
配水量(年間)	1,360,993 m³	1,403,898 m³	▲ 42,905 m³
有収水量(年間)	1,160,741 m³	1,153,584 m³	7,157 m³
有 収 率	85.3 %	82.2 %	3.1 %

令和6年度末における給水人口は前年度に対し 76人 減となり、10,164人 となっている。

年間配水量は前年度に比べ 42,905m³ 減少したが、有収水量は前年度に比べ 7,157m³、有収率は 3.1ポイント 増加している。

(2) 予算執行の状況

① 収益的収入及び支出

【収益的収入】

(単位：円(税込))

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	収納率(%)
水道事業収益	367,133,000	378,416,771	11,283,771	103.1
営業収益	339,240,000	346,657,778	7,417,778	102.2
営業外収益	27,883,000	31,747,433	3,864,433	113.9
特別収益	10,000	11,560	1,560	115.6

(注：水道事業収益の決算額中消費税額は 32,112,006円 である。)

収益的収入の決算額は、予算額を 11,283,771円 上回り、収納率も 103.1% となっている。

【収益的支出】

(単位：円(税込))

区分	予算額	決算額	翌年度 繰越額	不用額	執行率(%)
水道事業費用	356,736,000	305,375,780	0	51,360,220	85.6
営業費用	326,880,000	289,103,387	0	37,776,613	88.4
営業外費用	28,656,000	16,261,009	0	12,394,991	56.7
特別損失	100,000	11,384	0	88,616	11.4
予備費	1,100,000	0	0	1,100,000	0.0

(注：水道事業費用の決算額中消費税は 12,501,726円 である。)

収益的支出の決算額は、305,375,780 円で、予算額に対する執行率は 85.6% となっている。

② 資本的収入及び支出

【資本的収入】

(単位：円(税込))

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	収納率(%)
資本的収入	11,440,000	11,440,000	0	100.0
企業債	0	0	0	0.0
負担金	11,440,000	11,440,000	0	100.0

(注：資本的収入の決算額中消費税は 0 円である。)

資本的収入の決算額は、予算額と同額の 11,440,000 円である。

【資本的支出】

(単位：円(税込))

区分	予算額	決算額	翌年度 繰越額	不用額	執行率(%)
資本的支出	109,304,000	100,899,659	0	8,404,341	92.3
建築改良費	40,536,000	32,132,230	0	8,403,770	79.3
企業債償還金	68,768,000	68,767,429	0	571	100.0

(注：資本的支出の決算額中消費税は 2,906,300 円である。)

資本的支出の決算額は、100,899,659 円で、予算額に対する執行率は 92.3% となっている。

【資本的収支における不足額の補てん財源状況】

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 89,459,659 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,866,300 円、当年度分損益勘定留保資金 75,004,083 円、及び建設改良積立金 12,589,276 円で補てんしている。

(3) 経営成績

(単位：円(税抜)・%)

区分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
事業収益 A	346,304,765	342,109,121	4,195,644	1.2
	営業収益	315,200,799	310,426,532	4,774,267
	営業外収益	31,092,406	30,910,754	181,652
	特別利益	11,560	771,835	▲ 760,275 ▲ 98.5
事業費用 B	290,243,578	289,965,517	278,061	0.1
	営業費用	276,602,163	275,260,005	1,342,158
	営業外費用	13,630,533	14,643,174	▲ 1,012,641 ▲ 6.9
	特別損失	10,882	62,338	▲ 51,456 ▲ 82.5
純利益 A-B	56,061,187	52,143,604	3,917,583	7.5

事業収益が 346,304,765円、事業費用が 290,243,578円で、差し引き 56,061,187円の純利益が生じている。

当年度未処分利益剰余金は、当年度純利益の増加等により 148,650,463円である。

◆ 桑折町下水道事業会計 ◆

下水道事業会計については、令和6年4月1日から公営企業法の財務規定を適用している。

(1) 業務の概要

項目	令和6年度	令和5年度	前年度比較
年度末水洗化人口	4,632 人	4,622 人	10 人
年度末処理区域内人口	5,505 人	5,501 人	4 人
人口水洗化率	84.1 %	84.0 %	0.1 %
年度末接続戸数	1,791 戸	1,782 戸	9 戸
年度末供用対象戸数	2,005 戸	1,999 戸	6 戸
年間総汚水量	401,867 m³	395,778 m³	6,089 m³

本町における水洗化率は 84.1% であり、水洗化人口は 4,632 人、接続戸数 1,791 戸 となっている。年間総汚水量は 401,867 m³ で、前年度より 6,089 m³ 増加している。

(2) 予算執行の状況

① 収益的収入及び支出

【収益的収入】

(単位：円(税込))

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	収納率(%)
下水道事業収益	255,201,000	248,177,677	▲ 7,023,323	97.2
営業収益	71,053,000	72,793,224	1,740,224	102.4
営業外収益	184,144,000	175,380,593	▲ 8,763,407	95.2
特別収益	4,000	3,860	▲ 140	96.5

(注：下水道事業収益収入の決算額中消費税額は 6,670,593 円である。)

収益的収入の決算額は、予算額を 7,023,323 円 下回り、収納率は 97.2% であった。

【収益的支出】

(単位：円(税込))

区分	予算額	決算額	翌年度 繰越額	不用額	執行率(%)
下水道事業費用	279,005,000	233,484,133	0	45,520,867	83.7
営業費用	251,728,000	210,094,943	0	41,633,057	83.5
営業外費用	20,539,000	20,508,830	0	30,170	99.9
特別損失	6,408,000	2,880,360	0	3,527,640	44.9
予備費	330,000	0	0	330,000	0.0

(注：下水道事業収益的支出の決算額中消費税額は 5,648,842 円である。)

収益的支出の決算額は 233,484,133 円で、予算額に対する執行率は 83.7% となっている。

② 資本的収入及び支出

【資本的収入】

(単位：円(税込))

区分	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	収納率(%)
資本的収入	140,765,000	136,553,550	▲ 4,211,450	97.0
企業債	46,000,000	42,400,000	▲ 3,600,000	92.2
他会計負担金	76,275,000	76,275,000	0	100.0
国庫補助金	18,050,000	16,928,000	▲ 1,122,000	93.8
負担金	440,000	950,550	510,550	216.0

(注：下水道事業の資本的収入額中消費税額は0円である。)

資本的収入の決算額は136,553,550円で、予算額に対する収納率は97.0%であった。

【資本的支出】

(単位：円(税込))

区分	予算額	決算額	翌年度 繰越額	不用額	執行率(%)
資本的支出	186,640,000	183,225,698	0	3,414,302	98.2
建築改良費	45,199,000	41,785,503	0	3,413,497	92.4
企業債償還金	141,441,000	141,440,195	0	805	100.0

(注：下水道事業の資本的支出中消費税額は3,798,681円である。)

資本的支出の決算額は183,225,698円で、予算額に対する執行率は98.2%となっている。

【資本的収支における不足額の補てん財源状況】

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 46,672,148円 は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 3,798,681円、当年度分損益勘定留保資金 42,873,467円で補てんしている。

(3) 経営成績

(単位：円(税抜))

区分	令和6年度
事業収益 A	241,507,084
	営業収益 66,203,840
	営業外収益 175,299,384
	特別利益 3,860
事業費用 B	223,692,291
	営業費用 204,446,361
	営業外費用 16,365,830
	特別損失 2,880,100
純利益 A-B	17,814,793

事業収益が 241,507,084円、事業費用が 223,692,291円 で、差し引き 17,814,793円 の純利益が生じている。

当年度未処分利益剰余金も同じく 17,814,793円 となっている。

6 審査意見

<水道事業会計>

令和6年度決算は、当期純利益が56,061,187円となり、前年度に比べ3,917,583円増加している。給水人口の減少により、配水量等も減少傾向にあるが、漏水調査・修繕等により、前年度に比べ、有収水量7,157m³・有収率3.1ポイントの改善がみられる。設備の老朽化等を考慮しながら、今後も健全経営を続けていくためには、なお一層の事業運営の合理化・効率化を図る必要がある。

引き続き、安全で安心な水道水の安定供給に取り組まれるよう努めていただきたい。

<下水道事業会計>

令和6年度は、特別会計から地方公営企業法による公営企業会計に移行して、初めての決算となった。下水道事業においては、企業債償還が大きな経費負担となっており、経営を取り巻く環境も含め、一層厳しさを増すものと考えられることから、更なる効率的な事業運営が望まれるところである。